



心のチャンピオン

重点目標「思いをもち 挑戦しよう」

小笠東小学校
学校だより6月増刊号
令和7年6月11日



←東小ニュースも
見てください

多くの参観、親子種目参加、ありがとうございました。

今年のスポーツフェスタは、天候不良ため延期、再延期となり、御迷惑をおかけしました。快晴の中実施した6月6日には、たくさんの方が参観してくださり、ありがとうございました。また、親子種目にも参加していただき感謝申し上げます。

今年は、子供たち一人一人の活躍の場を増やし（低・中学年も自分たちの力で運営、親子で行いたい種目を考えるなど）、熱中症予防に最大限の配慮（低・中・高学年の部とすることで、子供たちが外にいる時間を短くする・水分補給を呼び掛けるなど）をした形式で行いました。子供たちにとって、思いをもち、挑戦いっぱい
の時間となりました。

スポーツフェスタが終わり、1学期後半となりました。現在子供たちは、思いをもち 挑戦して取り組む友達の姿を、心のチャンピオンカードに書いて渡す活動を行っています。この取組は、思いに向かって、ねばり強く挑戦する子を育てたいという願いがこめられています。私たちは、そのような子供たちの態度と行動を応援していきます。

さて、思いはもっても、なかなかやる気が出ないということはよくあることです。やる気スイッチがどこかにあって、スイッチをオンにできればいいのにとすることがあります。これは、有名な脳科学者の方がおっしゃった言葉ですが、やる気は行動の原因ではなく結果だそうです。つまり、やる気があるから行動する人だけではなく、行動するとやる気が出てくる人もいるということです。始めは



1年生…キラキラ笑顔でバトンタッチ!



2年生…つなげ!笑顔のバトンタッチ



低学年…心はいつもひとつ!小笠東小探偵団



低学年親子…気持ちを一つに!親子玉入れ



中学年…ペアでミッション!障害物レース!

嫌々やっていたことが、続けているうちに集中してくるのがあるのではないのでしょうか。また、毎日続けていると、やらないと気が済まないということもあるのではないのでしょうか（私は毎日授業参観し、子供のがんばりをホームページに掲載する。昼休みに遊ぶ。ペコリあいさつ+1など）。つまり、やる気は、やっているうちに出来るもので、待っていても出来るものではないと言うことでしょうか。なかには、感動する出来事に遇って、「よし、やってみよう！」とやる気スイッチが入ることもあります。しかし、なかなかそういう出来事にタイミングよく出会うことは難しいと思います。そのような機会を待っているよりは、まず、行動する方が確かです。毎日続けることで習慣化されます。人は習慣化するのに平均66日かかるそうです。2～3か月続けることは大変ですが、習慣化されたらすごいことです。

「早寝・早起き・朝ごはんをする」「読書をする」「ペコリあいさつ+1をする」「親子で語り合う時間をもつ」など、続けることが大切なのかもしれません。



3年生…全力リレー



4年生…みんなでさかそう!花束リレー!



中学年親子…力強く!親子で綱引き!



高学年親子…梅干し白米コロコロ対決



5年…ギャラクシーリレー



6年…込めろ魂!繋げバトン!



高学年…魂ソーラン 2025ver.

～お知らせ～

星組は、4月から教務主任と井上教諭が連携し授業を行ってきましたが、6月18日（水）から、井上教諭が出産育児のためお休みをとることとなりました。そこで、6月18日から1学期終了時までは教務主任一人が授業を行います。2学期からは、育休で休みをとっていた落合教諭が復帰しますので、落合教諭と教務主任が連携し授業を行っていきます。

